



発行元：保土ヶ谷区社会福祉協議会 ボランティアセンター
令和6年3月発行



手話サークルの活動紹介



保土ヶ谷区社会福祉協議会には、多くのボランティア団体が登録しています。今回は、本会が運営している区福祉保健活動拠点で聴覚障がい者との「交流会」や「手話の勉強会」を行っている3つの手話サークルを紹介します。

《手話サークルの見学を希望される方はボランティアセンターまで》

ほしの会

毎週土曜日（第4週は交流会）
14：00～16：00

私達は日常会話を中心に手話の勉強をしています。聴覚障がいのある方々と交流しながら手話を実践しており、みんなでワイワイ楽しくやっています。興味のある方は是非見学にいらしてください。



もみじ会

毎週木曜日（第4週は交流会）
18：30～20：30

手話を通して聴覚に障がいのある方々の問題を理解し、交流を深める事を目的に活動しています。毎月1回は交流会や季節の行事等を企画しています。興味のある方は、気軽に見学にお越しください。



さくらの会

毎週火曜日
18：30～20：00

《楽しい手話》がモットーです。日頃、気になる言葉を手話で表現してみませんか？
ろう文化に触れ、"あ〜なるほど"と聞こえる人と聞こえない人との違いに日々発見があります。笑い声のあるサークルです。気軽に覗いて、手話を見てください。



手話入門講座を開催しました



2月に手話入門講座（全3回）を開催しました。日常のあいさつや自己紹介などの基本を学び、3回目の講座では、グループに分かれて手話によるコミュニケーションを体験しました。保土ヶ谷区聴覚障害者協会、区内各手話サークルの皆様、ご協力ありがとうございました。



福祉教育ってなにをするの～？

区内の小学3年の児童に、ボランティアさんが車イスの使い方を教えてくれました。スロープでのスピード加減の難しさや段差を後ろ向きに降ろす時の声かけのタイミングなど、初めての体験に興味津々の子どもたちでした。

優しい大人に育ってくれるとうれしいですね。社協ではこの他にも様々な福祉教育を行っています。



特別支援教育支援員の紹介

「特別支援教育支援員」とは・・・
横浜市立の小・中学校に在籍している特別な支援が必要な児童・生徒に対して、校内及び校外活動において学習面や行動面の支援を行うボランティアの方です。現在16名の支援員さんが区内の小中学校で活動中です。

教育支援員の活動は楽しい思い出がありません。長い間担当していた児童が今年度で卒業してしまうので、とても寂しいです。今後も小学校での活動を継続していきたいと思っています。

特別支援教育支援員 Sさん

NEW

ボラセンキャラクター！じゃがボラくん

はじめまして！

保土ヶ谷区ボランティアセンターマスコットキャラクターの「じゃがボラくん」です！

県立商工高等学校の生徒にデザインをしていただきました。

保土ヶ谷区はかつてじゃがいもの産地で「全国にじゃがいもを広めたのは保土ヶ谷」と言われています。

これからじゃがボラくんとボランティア活動を盛り上げていきます！

新人ボランティアさん活躍中！

【昨年の秋から障がい者施設で活動中のMさんのコメント】
～障がいのある方と一緒に日常生活を過ごしてみて～

施設の利用者の皆さんは、それぞれの生活習慣で過ごされており、私はその邪魔をせず、一緒に共同生活ができるように心がけて接しています。また、買い物や日常生活の中で周りの人の協力が大切だということも改めて感じております。

ボランティアをお探しの施設や団体・個人の方もお気軽に、保土ヶ谷区ボランティアセンターまでお問い合わせください。

令和6年度ボランティア保険

活動保険は●基本プラン350円

●天災・地震補償プラン500円

郵便局で指定の払込票をご利用の場合は振込手数料は無料です。(R6年1月改訂)

なお、社協窓口での現金受付はできません。

令和6年度ふれあい助成金

★3月4日(月)受付開始

★4月19日(金)締切

申請書・報告書にはコピーを添付してください。

保土ヶ谷区ボランティアセンター

保土ヶ谷区川辺町5-11 かるがも3F 保土ヶ谷区社会福祉協議会内
月曜～土曜/9:00～17:00 窓口 または ☎045-332-2412

ボランティア登録は インスタフォロー
こちらから👉 おねがいします!👈



HODOGAYA_VOLUNTEER_CENTER